

地区別意見交換会「こぼカフェ」報告書			
日時	令和4年10月25日(火曜) 19時00分 ~ 20時30分		
場所	KITTO 小林2階	グループ人数	6名
担当班 (2班)	テーブルホスト 大迫 みどり		
	記録係 坂下 春則		
	市民 3名		
テーマ	あなたの幸せ		
サブテーマ	健康であること		
ターゲット	健康に不安がある人		

【現状分析】※グルーピングを行った項目ごとに、出された主な意見を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> 健康 健康 安全な食事 ウォーキング スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> 趣味 料理 やさいづくり 魚釣り 旅行 有機農業 グランドゴルフ 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係 夫婦円満 孫と遊ぶ 平和である まわりの人が笑顔 ゆったりしている時 	<ul style="list-style-type: none"> 心 不安がないこと 人に頼られる 心配なく暮らせる やることがある 気づいたら即実行
---	--	--	---

【課題分析】※上の現状分析から課題を分析する。

幸せを求めるためには、まず健康であることが重要。
健康を維持するためには、生きがいとなる趣味を持つことが大事。

【健康のために】

安心・安全な食生活 健診を受ける 魚釣り よく寝る 具たくさん味噌汁 農業をする
グランドゴルフ 有機野菜 米づくり 旅行(歩く) 少しお酒を飲む

【戦略・アイデア】

様々な趣味を持つことが健康につながっている。なかでも小菜園で野菜を作っている方が多い。有機野菜を作り食することで、①体を動かす、②頭を使う(考える)、③安全な野菜が食べられる、④充実感が味わえる。

以上の4点を踏まえて、全市民に広げて健康になってもらう。

政策としては、以下のとおり。

- ・野菜づくりアドバイザーを雇用し土地がない方には、市が土地を提供する。
- ・市民が気軽に小菜園で野菜づくりを楽しめるようにする。

地区別意見交換会「こぼカフェ」報告書			
日時	令和4年10月25日(火曜日) 19時00分～20時30分		
場所	須木総合ふるさとセンター 研修室	グループ人数	7名
担当班 (1班)	テーブルホスト 原 勝信		
	記録係 舞田 重治		
	市民 5名		
テーマ	地域の美味しい食べ物		
サブテーマ	須木米にあう美味しいおかず		
ターゲット	須木地区に住む人		

【現状分析】※グルーピングを行った項目ごとに、出された主な意見を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食 家族との食事 新米、栗、ゆず 須木特産のもの 焼酎、会食 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 癒し 家族、孫 園児と遊ぶ パートナー 仲間とのふれあい 子供と話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 趣味 グランドゴルフ 模型作り 写真絵画 趣味没頭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潤い 安定した収入 お金 健康 地域の幸せ 生きがい平和 毎日が楽しい 須木への移住
---	---	---	---

【課題分析】※上の現状分析から課題を分析する。

この日常が永遠に続くとは考えにくい。このままでは地域の人々が減少し、衰退は免れない。
地域特産の発見発掘と須木地域の人々の幸せを感じる瞬間を再確認を行い地域の魅力発信を行う。

【戦略・アイデア】

ふるさと特産品、須木米にあう地域の伝統的な美味しいおかずに幸せを感じていただき、精神的なゆとり、決して多くはないが安定的な収入、生きがいを得ることで、心のふるさと須木の魅力を発信、移住定住に繋げる。

●須木米にあう美味しい伝統的なおかず

- 1 ぜんまいの煮しめ、油炒め
- 2 卵かけご飯(地鶏・自家どり)
- 3 山芋(自然薯)とろろ御膳
- 4 手づくりこんにゃく(さしみ)
- 5 油味噌(手づくり味噌) 具=にら・ちりめん・地鶏・落花生・イリコ・鯉節=それぞれ家庭によって色々个性的
- 6 煮しめ=大根・にんじん。ごぼう・タケノコ(乾燥)・厚揚げ
- 7 よごし(白和え)=大根葉・セリ・かわたかな
- 8 須木焼酎(すきはるか他)

●魅力の発信

- 1 須木ほぜ祭り
- 2 十五夜の手づくり土俵・相撲大会
- 3 子供食育及び体験学習として田植え・稲刈り・いもほりを行う。
- 4 すきむらんどに須木の郷土料理のメニューを加える。

地区別意見交換会「こぼカフェ」報告書			
日時	令和4年10月25日(火曜)	19時00分	～ 20時30分
場所	須木総合ふるさとセンター 研修室	グループ人数	6名
担当班 (2班)	テーブルホスト 押領司 剛		
	記録係 鎌田 豊数		
	市民 4名		
テーマ	仕事・働くこと		
サブテーマ	小林市で働く人を増やす		
ターゲット	学生(小中学生)		

【現状分析】※グルーピングを行った項目ごとに、出された主な意見を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事 須木村で子供達の夢を作り たい 会社が良くなり社員の幸 せ	<ul style="list-style-type: none"> ・人 家族との団らん 友達と会って話す 人とのつながり 人とつながれる場所 恋人ができた時 子供の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 お金がある 時間に余裕がある 何か成功した時 お酒を飲む	
--	--	--	--

【課題分析】※上の現状分析から課題を分析する。

小中学生には、小林市で働く魅力や仕事が伝わっていない。
小中学生のうちに小林市で働く良さを教える必要がある。
小林市で働ける業種が少ない(選択肢が少ない)。
農畜産業の中でも小林を代表する作物があることを知ってもらう必要がある。
学校教育でも将来に関する授業をもっと必要では。

【戦略・アイデア】

小中学生に大人が仕事内容を教えるために、学校で「働くことや人生について」の出前授業を行う。
行政と協力し、職業体験フェスタの実施してみる。

地区別意見交換会「こぼカフェ」報告書			
日時	令和4年10月25日 19時00分～20時30分		
場所	野尻庁舎 大会議室	グループ人数	6名
担当班 (1班)	テーブルホスト 吉藤 洋子		
	記録係 内ノ倉 利春		
	市民 4名		
テーマ	高齢者(70歳以上)の健康		
サブテーマ	毎日のウォーキング		
ターゲット	70歳以上の高齢者		

【現状分析】※グルーピングを行った項目ごとに、出された主な意見を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> ・健康 元気で働く 健康で日々を過ごせる 子供達と健康に遊べる	<ul style="list-style-type: none"> ・人 孫と遊ぶ 友人と楽しく飲む	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味 花作り 野菜作り 木工品を作る 親父バンド	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 経済的に心配がない
---	---	--	--

【課題分析】※上の現状分析から課題を分析する。

歩数を重ねることが楽しみであるが、ウォーキングをする際もっと楽しみがあると良い。
参加者が高齢なことから、健康でいることに一番夢や希望を持っている。
全員毎日のウォーキング・ジョギングをかかさないと歩かない日は、忘れ物をした気分になる。

【戦略・アイデア】

日々のウォーキングコースの道中に食べられる木の実及び花を植える。
季節ごとに木の実や花を植え替え、ウォーキングをする際の楽しみにし、ウォーキングの継続を促す。